

蒜高タイムズ

第35号
毎月25日発行
H19 2 25
蒜山高校
渉外係

卒業
おめでとう



卒業生へ贈ることば

なみだをこらえて
かなしみにたえるとき
ぐちをいわずに
くるしみにたえるとき
いいわけをしないで
だまって批判にたえるとき
じつと屈辱にたえるとき
あなたの眼のいろが
ふかくなり
いのちの根が
ふかくなる



(相田みつをの詩より馬野篤司)

「自分を見失わず、たくましく」

卒業おめでとう。蒜山高校を巣立っていく皆さんは、これからは生活する場もつきあう人達もこれまでの高校生活とはずいぶん違ってくるでしょう。都会に出て行く人もいます。色んな場所があり、色んなキャラの人達に出会うでしょう。蒜山のような所から外に出るとびっくりするようなことはかりかもしません。そんな中で若いあなた達には色々なことを経験してもらいたい。でも外見の華々しさにだけ惑わされて自分を見失わないで下さい。じっくりと中身を観察しなさい。時間をかけて『本物を見分けるを力』を養ってほしいと思います。次に、『努力に勝る天才なし』という言葉を送ります。スポーツに於いても学問に於いても天才と呼ばれる人がいます。我々は彼らのプレーに、成した業績に驚嘆します。しかし彼らは才能だけで偉業を成したのではないのです。人並みはずれた努力の賜物です。言い換えれば、彼らは努力を努力と思わない天才なのです。我々は皆凡人から出発しています。凡人が凡人のままでいるか、後に偉人と言われるかはその後の努力次第です。あなたも生まれ持った能力を開花させるべく根限りの努力をしてたくましく生きていって下さい。最後に、『親や兄弟・友人などこれまであなた達を支えてきた人達への恩を忘れるな』。君達が今あるのは彼らのお陰です。たとえ今はそれが分からない人もこれから社会に出て他人と交わるにつれ次第に気がつくはずですよ。彼らは目に見えない所でこれからもずっとあなた達の幸せを願っていることでしょう。彼らの想いを、友情を胸に刻み、いつか彼らに恩返しができるよう熱い気持ちを持ち続けて下さい。

(平井秀明)

卒業おめでとうございます。一年目の失敗は許されるが、二年目からの失敗は許されない。これは以前、ある学校のある先生が卒業生に向けて贈った言葉です。しかし私自身も含めて、不器用な人間はいつまでたっても失敗はするものです。不器用な人たちへ、「失敗をおそれずに。ただし同じ失敗をしないように。」素晴らしい未来があらんことを祈念します。

(太田英明)

みんな新しい道を歩こうとする。みんな新しい道を探そうとする。

新しい道はわくわくさせる。新しい道は刺激的。新しい道は好奇心にあふれる。でも、そうやって新しい道ばかり歩いているかぎり、なにを見つけたことも実はできない。同じ道を、何度も何度も何度も通るからこそ、新しい発見がある。いままで気づかなかったことが見つかる。新しい道ではなく、いつもの道を何度も何度も何度も、繰り返して歩いてみよう。きっと見えなかったものが見えてくるから。

(土居吉幸)

卒業おめでとう。怒ってばかりだったけど、今日、この日を迎えられる本当に、本当に嬉しく思います。不平不満はすぐに口に出てしまふ。でもそれよりも、感謝の気持ちをいっぱい伝える方が気持ちいい。不平不満を言う前に、言わなくてすむ方法を考えよう。今日は誰に卒業証書を見せますか。ここまでずっと見守ってくれた周りの人への感謝の気持ちを忘れず、これからの新しい道を歩んでいって下さい。3年間、本当にありがとうございました。

(瀧川潤子)

卒業おめでとう。さあ、それぞれの道に向かってのスタートラインに立ちました。いいこと、楽しいことばかりが続けばいいけど、ときには辛いことがあるかも知れません。やまない雨はない。明けない夜はない。終わらない冬はない。そう信じて自分の力で乗り越えて下さい。

(村上幸代)

卒業おめでとう。入学当初の初々しさが懐かしいです。最初の体育祭の母リレーでは、上級生を押しよけて優勝したことを今でも思い出します。担任として、とても嬉しかったです。その後も、クラス一丸となって学校行事に取り組んでいましたね。そして、コースの授業では、各自の目標に向かって取り組んでいた姿はとても素晴らしいものでした。これからは、新しい場所での生活が待っています。最初は、大変なことあると思いますが、焦らず、諦めずに自信を持って社会生活を送り、今までの学校生活で培ってきたものや、育ててくれた家族に感謝する気持ちを忘れず、今後一層活躍して下さい。

(矢部大輔)

どんなときでも、注意深く悪をこばみ、決して自分を見失つことなく、前へ前へと進んで下さい。

(門田真季)

卒業おめでとうございます。新生活が始まると、しばらくは、あたたかい日々が続くことでしょう。忙しいときでも、季節の変化を楽しめる心の余裕をもっていたいものです。どうかお元気で。

(原典子)

卒業おめでとう。この先歳をとって、今、君たちの周りにいる大人の歳になった時、わかることがあるでしょう。僕も君たちが二十代半ばで、高校の先生もこんなことを考えながら生きていたのかな。と思ってくれと嬉しのです。その時にはさらに僕は歳ですけれども、「先に生まれたから先生と呼

ばれるのではなく、「先をきている」から先生と呼ばれるような人でありたいと思います。来年はまだ蒜高にいますから遊びに来て下さい。

(小川倫弘)

卒業おめでとう！今以上にたくましく成長した姿を見せに来て下さいね。また会える日を楽しみにしています。

(片山輝幸)

卒業おめでとう。現場主義・経験主義・現実主義をモットーに社会の荒波に立ち向かって下さい。大いなる失望は大いなる樂觀を生ず。そのうちに、「人生、生きてるだけで丸儲け」と思える日が来ると良いですね。

(福岡宏)

卒業おめでとう。いつまでも蒜高魂を忘れるな！

(寺脇理史)

「さよなら」と始まりの繰り返し、生きること。そうしていつか始まりのない「さよなら」がやって来ます。それを生きることへの定義として、今後の生きる道を、悩み、挫折もしながら模索して下さい。

(植田恭正)

卒業おめでとうございます。非常に短い期間しか一緒にいなかったのですが、とても残念に思っています。これからの人生でいろんなことがあると思いますが、自分のことを信じて前向きに頑張ってください。

(山室知加)

卒業おめでとう。いつも自分に挑戦することを忘れずに、その日その日を大切に歩んでいってください。ゆっくり、ゆっくり、自分らしく。またどこかで会ったら笑顔で声をかけて下さいね。

(青山佳代)

三年生の皆さん卒業おめでとう。

近年、職場や家庭もデジタル化時代と云われ、仕事や日常生活において「デジタル派人間」とも云われる言葉生まれていく。私は、これに対し「アナログ派人間」も消滅してはならないと思う。卒業生の皆さんはどう思いますか。

(西郷 正明)

この入試に伴い、本校では、二月七日は午後より生徒は下校、八、九日は登校禁止となっています。このことについて、あらためて二十九日付の文書でお知らせしますが、ご承知置きください。

(西山慎吾)

3月の予定

- 1日(木) 卒業式
- 2日(金) ~ 1, 2年生家庭学習日(19日まで。
ただし、希望者の補習あり)
- 12日(月)~14日(水) 生徒登校禁止
(一般入試のため)
- 20日(火) 第3学期終業式
- 21日(水) 春季休業(～4月8日)

*春季休業は21日からです。春季休業中の課題については、家庭学習期間中から計画的に行いましょう。

1, 2年生希望者補習の日程について

2日(金)~7日(水), 19日(月), 20日(火)



新聞をご覧になられた感想、ご意見などありましたら下記までお願いいたします。
蒜山高校 Tel:66-2016 (担当 植田)
e-mail: hiruzen07@pref.okayama.jp

